

科目名	精神障害基礎論	担当教員	荻野 裕介 松田 竜幸 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------	------	------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	2年次	前期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23D	①、②					

科目概要	近年患者数が増加し「5大疾病」に加えられることになった精神疾患ならびにその障害の知識は国民の健康へのアプローチに際して理解が急務で、かつ重要度の高いものである。近年は気分障害や統合失調症の生活障害と当事者の予防・精神科リハビリテーションへの注目も集まり体系的な学びが必要であることから、本講義では各種の症候学、症状学など、対象者理解につながる基本的な知識と、役立つ支援につながる実例的なポイントを学習する。
学習目標	① 精神障害における異常心理及び症状、検査、診断、疾患分類について説明できる。 ② 主たる精神疾患の概念、疫学、診断、治療について説明できる。 ③ 向精神薬の種類とそれらの作用機序について説明できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	精神医学とは何か	医学において精神医学の占める位置を確認し、精神医学の歴史と現状を展望する。診断法や国際分類についての基本的な考えを学ぶ。	
2	気分障害 不安障害と関連事項	障害の概念、疫学、症状、診断、治療	気分障害について疫学、症状、推定される成因などについて学ぶ。神経症と呼ばれる疾患群を不安障害としてとりあげ、パニック障害、強迫性障害、恐怖症を理解する。	
3	身体疾患による精神障害	症状性精神病、器質性精神病、てんかん	代表例を通じてその特徴の理解と現代における意義を考える。てんかんについても理解する。	
4	小児期精神障害	広汎性発達障害、自閉症障害、学習障害、注意欠陥多動性障害（ADHD）、精神遅滞	小児期からの障害や小児期に明らかとなる広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害を理解する。	
5	思春期・青年期精神障害 壮年期精神障害	パーソナリティ障害、摂食障害 心身症、アルコール依存症、物質関連障害	この時期に特徴的な疾患としてパーソナリティ障害と摂食障害をとりあげ、概念、症状、診断、治療を理解する。心身症とアルコール依存症をとりあげ、概念、症状、今日の現状を理解する。	
6	老年期精神障害	老年期認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、うつ病	作業の選択、介入方法、集団の利用の有無と目的、場所の選択、頻度や期間の設定について理解する。	
7	統合失調症	統合失調症についての障害の概念、疫学、症状、病型、成因、社会生活場面の特徴	概念、疫学、症状、病型、成因、社会生活場面の特徴について理解する。	
8	統合失調症	統合失調症についての経過と予後、鑑別、治療とリハビリテーション、近年の動向	経過と予後、鑑別、治療とリハビリテーション、近年の動向について理解する。	
評価方法		筆記試験(100%)		
課題に対するフィードバック		講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		上野 武治・著『標準理学療法・作業療法学 精神医学第4版増補版』医学書院、2021年		
参考図書		大熊 輝雄・著『現代臨床精神医学 第12版』金原出版、2013年 森皆ねじ子・著『ねじ子が精神疾患に出会ったときに考えていることをまとめてみた』照林社、2020年		

<b>学習の準備</b>	予習：教科図書を通読し用語の確認をする。(90分) 復習：講義で理解できた内容と、理解が不十分な内容を整理し、自主学習、担当教員への質問の準備を行う。(90分)
<b>オフィスアワー</b>	非常勤講師は、講義の前後とする。 上記講師は、毎週水曜日 16：20～17：50。その他は、随時対応する。
<b>担当教員欄に※印を附した教員の 実務経 験</b>	